

原 強 プ 第 8 号  
平成28年11月7日

島根県知事 溝口善兵衛様

中国電力株式会社  
代表取締役副社長執行役員  
原子力強化プロジェクト長  
小川 司 徳

島根原子力発電所における保守管理の不備等に関する  
再発防止対策の進捗状況について（報告）

平成28年10月14日に開催された、第16回原子力安全文化有識者会議の議事概要について、平成22年3月30日付け消防第2738号および平成22年10月19日付け消防第1054号の申し入れに基づき、添付資料のとおりご報告いたします。

添付資料

第16回原子力安全文化有識者会議 議事概要

以上

## 第16回原子力安全文化有識者会議 議事概要

- 開催日時 平成28年10月14日(金) 14時00分～16時30分
- 開催場所 ホテル央道湖(鳳凰の間)
- 出席者 [社外委員] 梅林委員, 亀城委員, 高尾委員, 高橋委員, 豊田委員(座長), 野津委員  
※山浦委員は欠席  
[社内委員] 小川原子力強化プロジェクト長, 迫谷副社長, 古林常務

### ○ 議事内容

#### 1. 開会あいさつ(小川幹事)

- ・ただいまから、「第16回原子力安全文化有識者会議」を開催する。
- ・各委員の皆さまにはご多用の中、本会議に出席賜りお礼申し上げます。
- ・私は本年6月、原子力強化プロジェクト長を引き継ぎ、今回から幹事を務めさせていただきます。
- ・昨年6月に判明した低レベル放射性廃棄物の不正事案に対する再発防止策については、これまで3回の有識者会議において、委員の皆さまから大変貴重なご提言をいただき、改めてお礼申し上げます。
- ・再発防止対策として公表している16項目のうち、唯一未実施となっている、「設備を統合的に管理するシステムの改良」については、今年度中の完了を目指して取り組んでいるところである。
- ・私は「凡事徹底」、つまり日常の些細なこと・当たり前のことから徹底して実践していくという姿勢が何より大切だと考えている。地域の皆さまの生の声を直接伺いながら、社員の中にこうした認識やふるまいが浸透していくように取り組んでまいりたい。
- ・本日は低レベル放射性廃棄物の不正事案および点検不備問題に係る再発防止対策の至近の取り組み状況などについて報告する。

#### 2. 議事

- (1) 『低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる流量計問題』および『点検不備問題』に係る再発防止対策の実施状況・評価ほか』について

資料に基づき、電源事業本部部長 古川および原子力強化プロジェクト部長 今浦から『低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる流量計問題』および『点検不備問題』に係る再発防止対策の実施状況・評価ほか』について説明した。

主な意見は、以下のとおり。

[再発防止対策の実施状況に対する意見]

- ・意識面の改善に取り組まれているが、どんなに技術が進歩しても最後は人の手、人の気持ちであることを新入社員にも徹底して植えつけて欲しい。
- ・地元行事への参加や地元の方との親睦は、信頼を築くうえでもとても大事である。今後も継続してほしい。

- ・組織が大きくなるほど村社会の論理が蔓延して外部の社会の常識とかけ離れていく。そういうものが生まれにくいような仕組みを創っていくことが、今回の再発防止の取り組みの大きな目標であると思っている。そういう観点では、社外講師を招いて他の業種の人の話を聞く講演会はよいことである。
- ・他の原子力発電所も見学したことがあるが、中国電力が真摯に取り組んでいることはよくわかる。今後も再発防止に向けて、取り組みを継続していただきたい。

[その他の意見]

- ・沸騰水型の原子力発電所はまだ稼働していない状況で、先が見えないことをやっていることに対して、モラル（士気）をどう維持するかが重要である。
- ・現場の責任者と従業員が問題を共有しながらPDCAを回すことが重要である。説明資料ではそれを行っていることが分からないので、再発防止対策についてPDCAを回しているということが分かるように明記した方がよい。
- ・不適合の発生状況をホームページに公開されているが、データを示すだけではどのように受け止めればよいかわかりにくい。グレード分けの考え方や、不適合の発生件数が多いことがどういふことか、わかりやすく噛み砕いた解説があればよい。
- ・情報公開というのは、一方的に外部に向かって行うのではなく、公開要求を受けて発信していくのが最近の形態である。外部からの疑問や質問に答える形での双方向の情報公開について、検討していただきたい。

(2) 情報提供：島根原子力発電所2号機新規規制基準への適合性審査状況および安全対策の実施状況について

電源事業本部担当部長 大田から「島根原子力発電所2号機新規規制基準への適合性審査状況および安全対策の実施状況」について情報提供し、質疑を行った。

3. 閉会あいさつ（小川幹事）

取り組みの状況については今後も適宜、本有識者会議に報告し、有識者委員から提言を受けたい旨および有識者委員からの提言、議論に対するお礼を述べた。

以上